

## «久喜特別支援学校白岡分校の活性化・特色化方針»

種別	知的障害	学部・学科	高等部（分校）	R6.5.1 児童・生徒数	(男) 23名 (女) 9名	計 32名
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR 宇都宮線 「新白岡駅」から徒歩で約15分</li> <li>●東武伊勢崎線 「和戸駅」から自転車で約10分</li> </ul>					

### <教育課程等>

#### 分校教育目標「自ら学び 共に高め合い 未来を創る」

##### 【白岡分校の特色】

- 白岡高校の生徒との双方向の交流及び共同学習を推進し、障害のある生徒とない生徒が共に学ぶ機会の拡大を図ります。
- 1クラス8名、1学年16名という小規模集団の利点を生かし、より丁寧な指導を目指します。
- 職業を中心に、各教科、自立活動といった多様なカリキュラムにより、生徒の社会的自立の力を育みます。
- 白岡市内唯一の特別支援学校として、地域の多様な企業、施設、機関、そして人々との連携を進めます。
- 各教室へのプロジェクト設置や食品加工室など施設・設備が充実しています。

##### 【教科等の指導】

- 高等部普通科の学校として以下の教科等の指導を行っています。

「国語」「社会」「数学」「理科」「家庭」「外国語」「音楽」「美術」「保健体育」「情報」「総合的な探究の時間」「道徳」「特別活動」「自立活動」「職業」

##### 【職業教育】

- 週時数の約1／3は教科「職業」を実施します。  
※3年間で「食品加工」「メンテナンス」「農園芸」「オフィス作業」の4種の作業を経験  
※各業種の専門家による指導

### <学校行事・部活動>

##### 【学校行事】

- 白岡高校と合同
  - ・対面式、体育祭、文化祭、強歩大会、芸術鑑賞会、スポーツ大会、防災訓練等
- 分校単独
  - ・社会体験学習（東京方面）、宿泊学習（長瀬方面）、修学旅行（北海道方面）

##### 【部活動（分校単独）】

- 運動部：陸上、サッカー、バスケットボール等
  - 文化部：文化的な活動（PC、写真、絵画等）
- ◎よりよい人生を実現するための力を育成します。

### <家庭・地域との連携>

##### 【白岡高等学校との交流】

- 制服のブレザーのデザインが高校と共通であることに加え、分校普通教室が高校普通教室と隔たりなく同じフロアに配置されています。チーム白岡として日常的な交流を目指しています。

##### 【地域との交流】

- 老人福祉センター、市役所等との連携により多様な人々と交流していきます。
- ◎主体的に社会参加できる生徒を育成します。

### <進路>

##### 【進路指導】

- 職業をはじめとする各教科の授業や学校生活全般を通じ、社会的に自立する力を育みます。
- 産業現場等における実習を中心に、働くことに対する意欲・関心を高め、働くために必要な知識・技能を習得したり、よりよい進路の実現に向けて、自らの生活を改善しようとする態度を養います。
- 産業現場等における実習に加え、企業・事業所等と提携し、デュアルシステムによる職業体験を実施します。

◎生徒それぞれの障害特性、キャリア発達段階に応じた適正就労につなげていきます。

# 『白岡分校』育成方針

## 自ら学び

○自ら学び、考え、行動できる生徒

○基本的生活習慣を確立し、心身ともに健康な生活が送れる生徒

○誰にでも、自分から明るく元気な挨拶ができる生徒

- ・安心できる環境(学校)で、自己肯定感を高める。
- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・学ぶことの楽しさを知り、自ら学び、考え、行動できる力を身に付ける。



## 1年生



## 2年生

身につける(社会で必要なルール、マナー、スキル)

考える(自分の適性・卒業後の進路・生活)

知る(自分のこと、進路のこと、社会のこと)

産業現場等における実習・デュアルシステムによる職業体験

各教科・自立活動・特別活動・日常生活・部活動

## 未来を創る

## 共に高め合い

- 他者を受け入れ、よりよい人間関係を築ける生徒

○自らの役割を果たしながら、社会で活躍できる生徒

## 分校教育目標

## 目指す 生徒像

- ・仲間との協力、他者の理解により共に成長する。
- ・様々な集団の中で、コミュニケーション能力、調整力を高める。



- ・自分の「やりたい」(目標)を明確にし、実現に向けて努力する。
- ・社会的自立に必要なスキルを高める。(ワークスキル、サポートスキル)



## 3年生



実現する(進路・よりよい人生)

社会参加を目指した  
キャリアプランニング